

人間科学科について知りたい方のための

フリーぺーぱー『らいふみる』

2025年6月22日発行

【人間科学科はこんな方にオススメ】

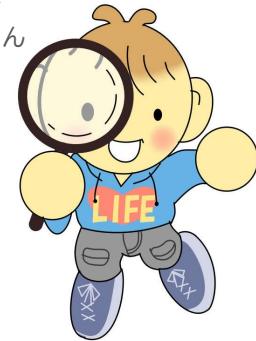
人間科学科は広く「人間」に関わる事象について科学的に学ぶことのできる学科となっていますが、とくに次のような方にオススメです。

第一に、人間科学科では「人間」に対して科学的に（心理学・社会学・身体科学・情報学の観点から）アプローチします。そのため、身近な人びと、もしくは、異なる文化・価値観をもつ人びとの生活や人生に関心を抱かれている方にオススメです。

第二に、人間科学科では心理学的・身体科学的な実験や社会学的な調査を行うことを通して「人間」に対してアプローチします。そのため、「人間」の心理・身体・社会を理解するための実験や調査を自分でも行ってみたいという方にオススメです。

第三に、人間科学科では「人間」がつくりだした社会のさまざまな現象に対してアプローチします。そのため、家族・学校・職場・地域などで生じる問題や文化・環境・メディアなどのあり方について深く考えてみたいという方にオススメです。

学科キャラクター
『らいふみる』くん



【人間科学科によくある質問】

【大正大学には心理学を学べる学科が他にもあるようですが、どのような違いがありますか？】

心理学という学問分野にはさまざまな領域があるため、同じように心理学を学べる他大学や他学科と人間科学科では授業内容や取得できる資格が異なっています。人間科学科では特に、「人間」の「Life（生活・生命・人生）」をテーマとして心理学の授業がつくられていますが、具体的にどのようなことを学ぶことができるのか、そしてそれは他大学や他学科での学びとどのように異なっているのかについては、次のページに記されている人間科学科のシラバスを見ていただきたいと思います。また、人間科学科で取得できる資格については『らいふみる』の第1号で解説していますが、臨床心理学関係の資格（公認心理師、臨床心理士、各種カウンセラーなど）は取得できません。

【大正大学には社会学を学べる学科が他にもあるようですが、どのような違いがありますか？】

心理学と同様に、社会学もさまざまな領域を持つ学問分野であるため、同じように社会学やより広く社会について学べる他大学や他学科と人間科学科では授業内容や取得できる資格が異なっています。人間科学科は特に、「人間」の「Life（生活・生命・人生）」をテーマに社会学・心理学・身体科学、そして情報学の一部も同時に学ぶことができる点や必要な単位を修得すれば社会学系の資格と心理学系の資格をどちらも取得することができる点などが特徴的であると言えます。社会学の理論や社会調査関連の科目も充実しており、他学科よりも深く社会学を学ぶことができます。

【私は社会や数学が苦手なのですが、人間科学科の授業についていけますか？】

人間科学科には社会について学ぶ授業が複数ありますが、中学校や高等学校の社会科・地理歴史科・公民科のように人名や用語を暗記することが中心となる授業はありません。そのため、社会に対する関心を持っていれば、社会が苦手な方でも面白さを感じながら授業に参加することができます。また、人間科学科には統計について取り上げる授業が複数ありますので、数学が得意な方はその強みを発揮することができますが、数学が苦手な方にも分かるようにカリキュラムがつくられています。そのため、4年間の学びを通して統計的なものの見方や考え方を身につけることができます。

【人間科学科についての質問がある場合は、どうすればよいのですか？】

下記の連絡先（大学代表）にお電話いただき、まずは「大正大学アドミッションセンター」の担当者に質問してください。また、もし学科に直接質問をしたいという場合は、電話でそのようにお申し出ください。

* 連絡先電話番号：03-3918-7311（大学代表） 受付時間：平日 9:00-18:00（長期休暇期間等は9:00-17:00）

【人間科学科のシラバスを検索してみよう】

一人間科学科ではどのような授業が行われているのでしょうか？—

大学の授業の内容を詳しく理解するうえで役立つのが、授業計画を示したシラバスという資料です。学生は履修する授業の選択や毎回の授業の予習復習のためにシラバスを活用しています。大正大学では学外の方もシラバスに記載された情報をすべてみることができます。その方法を解説します。

大正大学ポータルサイト T-Po (<https://t-po-web.tais.ac.jp/campusweb/>) にアクセスするか右に示した QR コードを読み取ると「Taisho Portal」の画面となります。ページ下部の「ゲストユーザーはこちよりシラバス参照をご利用いただけます。」をクリックすると、右下の図のようにシラバス検索画面が表示されます。

その画面でまずキャンパスを「巣鴨キャンパス」に設定し、それから時間割所属を「学部共通」に設定すると、開講科目名や教員名でシラバスを検索することができるようになります。

シラバスを検索してみましょう。例えば、「開講科目名」の欄に次のページに掲載されている授業の科目名のいずれかを入力して「検索開始」をクリックすると検索結果が表示されますので、「参照」をクリックするとその授業のシラバスが表示されます。また、「詳細情報」をクリックすると「テーマ」や「授業の目的」、各回の授業の詳細を見るることができます。

次のページには人間科学科の専門部門の講義科目である「人間発達科目（A 群）」と「現代社会生活科目（B 群）」の一覧を掲載しました。気になる授業のテーマについて確認し、興味をもった授業についてはぜひシラバスを閲覧してみてください。



【授業紹介：親と子の発達心理学】

この講義は、心理学や社会学の学びをある程度進めた3年生以上が対象です。講義名こそ発達心理学と書かれていますが、心理学や社会学、さらには人間科学科と同じ人間学部に属する学科の専門領域である社会福祉学も含めた、学際的な視点から学びます。このような講義は、他大学ではみられず、人間科学科ならではといってよいでしょう。この講義の目的は、様々な関係から展開される人間関係の中でも特に現代社会における親と子に関する問題・課題を取りあげ、その現状と社会における対応について考えることです。具体的な親と子の問題・課題として、発展途上国で未だ大きな問題であるリプロダクティブルース・ライツ（性と生殖に関する健康と権利）、晩婚化や少子化などによる人口の変化、赤ちゃんの出生や死亡、不妊治療について、子育て支援の現状、障害をもつ子どもに対する親の受容などを取りあげます。これらのテーマから現代社会の問題・課題を多元的・複眼的に考えることができます。

【授業紹介：社会問題の社会学】

私たちが生きている社会にはさまざまな問題があり、その問題の改善や解決のために、政府や自治体、また諸機関は日々政策を考えたり、制度を作ったりしています。一つ一つの問題は、誰かにとっては生命やアイデンティティを脅かすほどの重大な問題であり、それらを解決するためにさまざまな議論が続けられてきました。その一方で、誰かがとても困っているにも関わらず、長い間、社会的に問題とされなかった事柄もあります。例えば、結婚（法律婚）をすると、夫婦が同じ名字（姓）になるという「夫婦同姓の原則」もその一つです。結婚による改姓によって、さまざまな不利益を被ったり、アイデンティティが脅かされると考える人たちが声を上げてはじめて、「夫婦同姓の原則」は問題化されるというプロセスがありました。「社会問題の社会学」の授業では、人口減少、貧困、技能実習生といった改善や解決を前提とした社会問題に加えて、社会問題が「問題化されるプロセス」についても考えています。

[人間科学科の講義系授業科目：人間発達科目（A群）と現代社会生活科目（B群）]

人間科学科の専門部門の講義科目は、「人間発達科目（A群）」と「現代社会生活科目（B群）」という2つの科目群に分かれています。2025年度に各科目群で開講されている授業の科目名・担当者・テーマは下記の通りとなっています。

・人間発達科目（A群）

科目名	担当者	テーマ
生命科学	石 龍徳	生命とは何か、ヒトとは何かを生命科学の視点から考える
身体活動の科学	内田 英二	運動や身体活動による身体諸機能の変化について
発育発達と運動	内田 英二	現代社会における子どもおよび中高年者の発育発達の状況と運動の関連について
脳と心	荒生 弘史	脳をはじめとする生物学的構造や過程と、心のはたらきとの対応関係をとらえる
基礎心理学	西村 悠貴	心理学の基礎と研究方法を学ぶ
心の認知科学	井関 龍太	記憶や思考などの人間の認知メカニズムについて学ぶことを通し、実証的な考え方を身につける
認知社会心理学	井関 龍太	社会的情報や対人相互作用における人間の認知メカニズムについて学ぶことを通して実証的な考え方を身につける
感情心理学	荒生 弘史	感情の働きと人間行動の関係について理解する
生涯発達心理学	長谷川 智子	受胎から死に至るまでの発達心理学
親と子の発達心理学	長谷川 智子	現代社会における親と子に関する諸問題・課題について考える
生と死の社会学	木村 豊	現代社会を生きる「個人」の〈生〉と〈死〉について考える
ライフコースの社会学	澤口 恵一	現代社会における人生の変化と社会変動との関係を理解する
健康心理学	塚田 知香	ストレスの基礎知識とセルフケア
動物と人間の心理学	高岡 祥子	比較心理学、比較認知科学
人間発達特講 A	畠山 直子	諸個人の移動経験を生活史から読み解く
人間発達特講 B (青年期とアイデンティティ)	天野 陽一	青年期とはどのような時期なのか実証研究の知見をもとに考え、人間の発達についての理解を深める

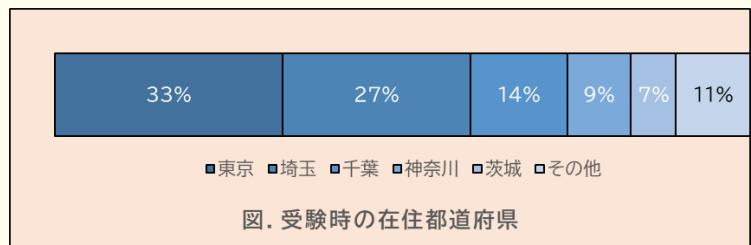
・現代社会生活科目（B群）

科目名	担当者	テーマ
社会心理学	谷田 林士	社会的環境への適応という観点から私たちのこころの働きを理解する 対人関係を深化させるコミュニケーション能力の向上を図る
コミュニケーションの心理学	谷田 林士	対人技法を習得しながら、コミュニケーション能力を向上させる
ジェンダーの社会学	関根 里奈子	ジェンダー、家族、労働、セクシュアリティ、女性学・男性学
現代社会論	河合 恒平	社会秩序はいかなるときに崩壊に向かうのか
親密圏と家族の社会学	澤口 恵一	家族とは何か、家族という集団の現代的課題について考える
生活環境の社会学	荒川 康	人間の暮らしと環境問題
都市と地域の社会学	荒川 康	日本の都市と地域の今を考える
職場の社会学	井出 裕久	日本の会社で働くことを考える
仕事の社会学	井出 裕久	「働き方の多様化」と働くことの意味——過労死・働きすぎ、女性労働
文化の社会学	木村 豊	多様な文化と共に生きる社会について考える
情報と社会	今村 成夫	情報社会とはどんな社会かを考察する
出版文化論	今村 成夫	『出版』の社会における意義と現状の理解
社会問題の社会学	畠山 直子	現代日本の社会問題を人口と階層から読み解く
現代社会生活特講 A (メディアと社会)	伊奈 正人	情報化・グローバル化と現代生活
現代社会生活特講 B (コミュニケーション論)	関根 里奈子	コミュニケーション メディア 文化 ジェンダー 社会学

[人間科学科の学生－2025年度新入生へのアンケートから]

一人間科学科ではどのような学生が学んでいるのですか？たとえば、東京都出身の方が多いのですか？－

人間科学科の学生の男女比は、入学年度によっても異なりますが、この数年間は男性よりも女性のほうが比較的多くなっており、今年度（2025年度）の新入生は男性が46.3%に対して、女性は53.7%となっています。また、人間科学科の新入生が受験時に在住していた都道府県は、1位東京が33%、2位埼玉27%となっていて、この2都県で60%、以下、千葉、神奈川、茨城と続きます。2位以下は順位こそ年によって変動がありますが顔ぶれはあまり変わりません。大学までの経路で通学のしやすさが影響していることが考えられます。その他には少数ながら新潟、富山、福岡といった遠方の地域からの入学生もいます。



人間科学科の魅力とは？－2024年度卒業生のコメントから－

—卒業にあたって今思う人間科学科の魅力はどんなところですか？—

(YKさん) 学科の先生方の人柄の良さだと思います。私は似たようなことを学びたい友人や様々なことを教えてくださる先生に会えることができ、相談事をした際には私の考えを後押ししてくれる考え方を教えてくれる人もいるし自分では考えたことのない新たな考え方を教えてくれる人もいて会話をしていると常に自分がアップデートされている気がします(笑)。私の気が済むまで話に付き合ってくれて感謝しかないです。先生方も友人にもすごく恵まれたと思います。

(YSさん) 身近に感じるテーマから一見遠く感じるテーマまで、幅広く学問として取り扱える点だと思います。様々な分野で学ぶうち、私は攻撃的ユーモアというテーマに関心を持ち、受容要因について検討する卒論を書きました。

(匿名Aさん) 人間科学科の魅力は、1年次に心理学・社会学・身体科学という3つの分野の基礎を広く浅く学び、2・3年次ではそれらの中でより興味関心が高いものについて深く学ぶことができるところです。私が受験したときは、ふんわりと“心理学”に興味があったから、という理由でこの学科を選択していました。しかしふたを開けてみると心理学にも様々なジャンルがあるし、いざ学んでみたら自分は心理学よりも社会学系の学問の方に興味があるということが発覚するし…と無知だからこそこの新しい発見が沢山ありました。

(Mさん) 1～3年の基礎科目を頑張れば専門分野がより面白くなる点。学科の友達と協力した方が扱う課題や授業内容があるため自然と友達ができる点。最初は心理学系全般に興味を持っていましたが、学んでいるうちに数値を用いて人を考えることに関心を持つようになり、心理学の実験演習や身体科学分野を中心とした授業を履修しました。

(匿名Bさん) 人間科学科の魅力はカリキュラムに書いてある通り問題に対して多角的にアプローチが可能な点だと思います。心理学、社会学、身体科学といった視点から物事をとらえていくため他の学科や大学では拾いきれない視点から問題を見る力が付きます。私は心理学に重点を置いて履修登録を行ってきました。特に心理学に興味があるというわけではありませんでしたが、人の感情や心の動きなどの背景などを深く学ぶことができました。

(匿名Cさん) 様々な分野の知識を得ることは、自分の視野を広げることに繋がると思います。人間科学科で様々なことを吸収したことで得られた視座は、学問の分野だけでなく、私のこれからにも大きな影響を与えてくれたと感じます。

[編集後記]

*『らいふみる』の2025年版の第2号（2025年6月22日発行）を発行いたしました。今回は主に人間科学科によくある質問についてご紹介いたしましたが、今後も『らいふみる』を通して人間科学科のことについていろいろとご紹介していきたいと思いますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

*『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。また、人間科学科について詳しくは、下記のURLか右記のQRコードから学科のブログをご覧いただきたいと思います。

(人間科学科ブログ：https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/)

